

人自然輝きつづける あい甲賀

まちづくりの指針

甲賀市総合計画基本構想

決まる

甲賀市 将来像

市では平成16年10月の合併以降、甲賀市総合計画の策定に向けての取り組みを進め、9月定例市議会基本構想(案)が可決されました。今月号では、決定した総合計画基本構想と今後の取り組みについて、ご紹介します。

1年4か月かけ 甲賀市の将来構想決定

総合計画の策定に向けて、昨年4月に市民20名で構成される総合計画策定審議会に諮問しました。

審議会ではこれまで市の現状の把握、市民意識調査、*パブリック・コメント制度により広く市民からの意見を聞きながら計画の策定を進め、8月17日には市長へ構想案が答申されました。(写真)中嶋市長へ答申する岩田会長

その後、先に開催された9月定例市議会に総合計画基本構想(案)を提案し、議決での慎重審議を経て、9月26日に可決されました。

*パブリック・コメント制度
市の基本的な政策又は制度の策定にあたり、原案の段階で、その趣旨や目的、内容等を公表し、これらに対する市民の皆さんからご意見や情報、専門的知識の提出を受け、提出されたご意見を考慮した上で政策等の最終決定を行なう制度です。

将来像実現に向けて

総合計画は、効果的で効率的な行政を進める上で大切な計画です。今後、市政は総合計画基本構想を基に進めていくこととなります。基本構想では、甲賀市の将来像を、「人自然輝きつづける あい甲賀」とし、その実現に向けた取り組み指針を定めています。

基本構想は、
将来像……将来のまちの姿を表現するキャッチフレーズ
まちづくりの理念……10年後、めざすまち

将来の人口目標……基本構想に基づいた市政運営により達成する人口の目標数値

まちの空間づくりの基本方針……土地利用の考え方や地域別の整備方向
まちづくりの目標……(3ページ)
協働で進めるまちづくりの目標……(4ページ上段)
をまとめたものです。

基本構想の中から、将来像の実現に向けて分野別にまとめたまちづくりの目標、さらに市民の皆さんとともに協働で進めるまちづくりの目標を次ページで説明しています。

甲賀のよさを 生かした まちづくりを



甲賀市総合計画策定審議会会長
岩田 銑二 さん

このたび、甲賀市総合計画基本構想が市議会において可決されました。基本構想を策定するために、私たちは19回の審議会と約10回の専門部会を開催し、検討を重ねてきました。会議では、市の現状把握、市民意識調査やパブリックコメントによる意見収集などを行い、市民の皆さんのご意見を取り入れました。

わが町甲賀市は7割が山林ということもあり、自然をまず大切に、すべての分野で市民が輝いていけるようなまちになるようにとの思いを込め、市の将来像を「人自然輝きつづける あい甲賀」と決定しました。

また、産業の発展、福祉の充実ももちろん大切ですが、人と人とのつながりと中山間ならではの良さを生かすまちづくりという声も盛り込んでいます。

今後は、基本構想をもとに基本計画の策定を進めていきますが、「まちづくりの5つの目標」は、市の将来像を実現するための市民の皆さん自らの目標でもあります。私たち市民が行政と手を携えて取り組んでいく「協働」の姿勢を持ちながら、甲賀市がますます輝いてゆくことを願って共に取り組んでいきましょう。

まちづくりの5つの目標

総合計画基本構想のなかでもまちづくりの目標については、将来像実現に向けた大切な柱となります。この構想には、将来のまちづくりの目標を定めています。

目標1 生活の安心感を みんなで育てる

人権・保健・福祉分野

年齢や性別、障がいの有無や人種などに関係なく、すべての人がお互いを尊重し合い、地域の一員となって等しく社会参加できるように、市民の人権尊重や男女共同参画社会に対する意識や理解を深めます。

そして、市民誰もが、地域活動への参加を通じて社会とのかわりを持ち、互いの顔と顔が見える関係を広げていくことで、生活の安心感を高めます。

子育て及び高齢者の健康維持などに関する不安を、気軽に相談し、支え合いながら解消していく体制を、地域住民と行政が一緒につくり上げます。

目標2 自然環境を大切にし、 暮らしの豊かさにつなぐ

環境分野

環境問題を市民一人ひとりが自分自身の問題として考える意識を高め、自然や限りある資源を大切にしようという、具体的な行動に取り組みます。

そのため、自然の有する偉大な力や自然とふれあう愉しさを、誰もが学び、体感できる機会を充実させるとともに、自然から得られる様々な恵みを、暮らしの豊かさにつないでいくための市民生活の知恵を育てます。

また、子ども達の原風景となり、来訪者に地域を印象づける、美しいふるさとの風土をまもり

目標3 安全で快適な生活の基盤を 整え、まちの活力を高める

都市基盤分野

各地域・年齢層のライフスタイルに応じた生活基盤を充実させます。さらに防災や防犯等に必要対策をハード、ソフトの両面から実施することにより、日常生活の安全性と快適性を高め、人々の定住を促進します。

特に、日々の生活を送る上で必要な地域情報をいつでも得られ、目的に応じて市内外を移動しやすい環境を整えることで、誰もが暮らしやすいと感じられ

目標4 地域の特性を活かし、 元気な産業を伸ばす

産業分野

大地から得られる恵み・産物、そしてこれまで受け継がれてきた地域の歴史や伝統、さらには、近畿圏と中部圏をつなぐ立地特性と第二名神高速道路による広域アクセスなどを活かし、元気な産業を育て、地元の雇用を創出します。

甲賀市の特色のひとつである、農業や地産産業は、「地産地消」「ブランド化」を通じて、市民生活に豊かさをもたらす活動として取り組みの強化を図ります。

さらに、市内各地の観光資源の連携や、人々のもてなしの心を育てることにより、地域への滞在性を高め、交流人口の増大と観光関連産業の振興をめざします。

目標5 たくましい心身と郷土への 誇りをもつ人を育てる

教育・文化分野

子ども達をめぐると問題が深刻化するなか、次代を担う心身ともにたくましい子どもや青少年を育てます。そして、郷土の歴史や伝統文化に誇りを感じ、自分達のまちをよくしたいという熱い思いと行動力のある人を、学校教育や生涯学習を通じて育てます。

また、家族や仲間とのスポーツ・レクリエーション活動、芸術及び文化活動を活性化し、市民の生きがいや育てるとともに、互いの交流を通じて、新たな地域文化の創造に努めます。



▲工事が進む第二名神高速道路



▲交流を通じてまちづくり
(市老人クラブグラウンドゴルフ大会)